

登録コード	E8965400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究					担当教員	山岸 明浩
英文授業名	Graduate Study					副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年生
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					家庭科を担当する教員として、住生活領域に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を身に着けるとともに、涵養できるようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					家庭科を担当する教員として、住生活領域の教育活動を行う上で必要不可欠な専門的知識と技能を身に着けるとともに、学んだ知識と技能を実践しながら、それらを振り返り、常に改善し、磨き上げていこうとすることができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働、健康長寿、防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	現代の住居領域における課題は、地域性や社会情勢などに関係しながら、様々な観点からのアプローチが可能である。研究テーマの決定し目的に沿った成果を達成するためには、住居領域における研究のレビューやデータの取集、解析・考察などの論理的な思考に基づいた研究フローが重要であることを理解する。 また、研究成果を達成することを通じて、他の課題の解決にも対応可能な応用力を養う。						
(5)授業計画	卒業研究の進め方（授業計画）は、研究テーマにより様々であり、研究の進捗状況によってはプロセスのフィードバックが必要であるが、おおよその授業計画は以下の通りである。 第 1 段階：住居学領域における研究分野の把握 第 2 段階：卒業研究として取り組む課題の明確化と論文骨子の検討 第 3 段階：卒業研究課題にかかわる社会情勢などの背景の把握 第 4 段階：卒業研究課題にかかわる先行研究のレビューと卒業研究課題のオリジナリティの検討と明確化 第 5 段階：調査・実験手法の検討 第 6 段階：解析手法の検討 第 7 段階：研究計画の検討 第 8 段階：調査・実験の実施 第 9 段階：調査・実験により得られたデータの確認とデータ化 第10段階：データ解析の実施 第11段階：解析結果の検討と考察 第12段階：卒業研究論文の構成の検討 第13段階：卒業研究論文のとりまとめ 第14段階：卒業研究成果の発表と論文提出 授業アンケートを実施 定期試験(論文提出)						
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次のとおりである。 ・みずからが考え、自己啓発に努めることができるかを測る平素の研究姿勢 20点 ・自らが取り組んだテーマについての理解度と習熟度を測る卒業研究発表内容 20点 ・住居学分野における専門的な知識・技能を備え、それらを応用できるかを測る卒業論文 60点 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	卒業論文の(a)研究目的の独創性, (b)研究手法の適切さ, (c)考察の説得力について, (a)～(c)の項目について基礎的なレベルにあれば「合格水準にある」, どれか1項目について卓越したレベルにあれば「やや上にある」, どれか2項目について卓越したレベルにあれば「かなり上にある」, 全項目について卓越したレベルにあれば「卓越している」。						
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業では、前週、または次週の授業内容にかかわる発問を毎回行うので、履修にあたっては事前・事後の取り組みを行い授業に臨むこと。						
(9)履修上の注意	・自主性を持って積極的に研究に取り組む姿勢が望まれる。 ・授業時のみならず、平素からの不断の取り組みが重要になる。 ・卒業論文の取りまとめには、家政教育全般の知識と住居学に関する知識がベースとなるために、入学時から興味関心を持って教育研究活動に取り組むこと。 ・原則として対面で実施する（初回の授業は、履修生の全体状況を把握するため対面とする）。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問、相談は主にメールで応じる。 山岸明浩 yamaaki@shinshu-u.ac.jp 026-238-4187						
【教科書】	授業時に適宜紹介する。						
【参考文献】	授業時に適宜紹介する。						